

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 商業 科目 簿記演習（発展）

教科： 商業 科目： 簿記演習（発展） 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書： （実教出版 新財務会計Ⅰ）

教科 商業 の目標： 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 簿記演習（発展） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1編 財務会計の基礎</p> <p>【知識及び技能】 会計の意味や機能、会計法規の種類や目的について正しく理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 会計公準の必要性や会計法規の役割を説明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 企業会計の意味と役割、株式会社制度の特徴と基本的な会計処理、企業会計原則と企業会計基準の役割や財務諸表の種類およびその構成要素について自ら学び主体的かつ協動的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 第1章 企業と会計 第2章 企業会計制度と会計法規</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等 確認テスト</p>	<p>【知識・技能】 会計の意味や機能、会計法規の種類や目的について正しく理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 会計公準の必要性や会計法規の役割を説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 企業会計の意味と役割、株式会社制度の特徴と基本的な会計処理、企業会計原則と企業会計基準の役割や財務諸表の種類およびその構成要素について自ら学び主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけている。</p>	○	○	○	4
<p>第2編 貸借対照表</p> <p>【知識及び技能】 ・貸借対照表の役割や区分、様式について理解する。 ・資産の意味・分類・評価について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・貸借対照表の役割や区分、様式の違いが身に付ける。 ・資産の意味・分類・評価の方法を説明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・貸借対照表の役割や区分、様式について、自ら学び主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付ける。 ・資産の意味・分類・評価の方法について、自ら学び主体的かつ協動的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 第3章 貸借対照表のあらまし 第4章 資産の意味・分類・評価</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等 確認テスト</p>	<p>【知識・技能】 ・貸借対照表の役割や区分、様式について理解している。 ・資産の意味・分類・評価について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・貸借対照表の役割や区分、様式の違いが身に付いている。 ・資産の意味・分類・評価の方法を説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・貸借対照表の役割や区分、様式について、自ら学び主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけている。 ・資産の意味・分類・評価の方法について、自ら学び主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけている。</p>	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
<p>第2編 貸借対照表</p> <p>【知識及び技能】 ・当座資産、棚卸資産、その他の流動資産、有形固定資産、取得原価の計算と期末評価、リース取引の意味や種類、処理方法について理解する。 ・無形固定資産の意味と種類、取得原価の計算や期末評価、投資その他の資産の意味と種類や期末評価について理解し、適切な会計処理をすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・当座資産、棚卸資産、その他の流動資産、有形固定資産、取得原価の計算と期末評価、リース取引の意味と処理方法を身につける。 ・無形固定資産の意味と種類、取得原価の計算や期末評価、投資その他の資産の意味と種類や期末評価について思考・判断し、それを説明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・当座資産、棚卸資産、その他の流動資産、有形固定資産、取得原価の計算と期末評価、リース取引の意味と処理方法について、自ら学び主体的かつ協動的に取り組む。 ・無形固定資産の意味と種類、取得原価の計算や期末評価について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 第5章 流動資産PART 1 第6章 流動資産PART 2 第7章 固定資産PART 1 第8章 固定資産PART 2 第9章 固定資産PART 3</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等 確認テスト</p>	<p>【知識・技能】 当座資産、棚卸資産、その他の流動資産、有形固定資産、取得原価の計算と期末評価、リース取引の意味や種類、処理方法について理解している。 ・無形固定資産の意味と種類、取得原価の計算や期末評価、投資その他の資産の意味と種類や期末評価について理解し、適切な会計処理ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・当座資産、棚卸資産、その他の流動資産、有形固定資産、取得原価の計算と期末評価、リース取引の意味と処理方法を身につけている。 ・無形固定資産の意味と種類、取得原価の計算や期末評価、投資その他の資産の意味と種類や期末評価について思考・判断し、それを説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・当座資産、棚卸資産、その他の流動資産、有形固定資産、取得原価の計算と期末評価、リース取引の意味と処理方法について、自ら学び主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけている。 ・無形固定資産の意味と種類、取得原価の計算や期末評価について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけている。</p>	○	○	○	19

<p>第2編 貸借対照表</p> <p>【知識及び技能】 負債の意味と分類について理解するとともに、流動負債、固定負債の意味と各項目の内容を理解し、適切な会計処理を行うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 負債の意味と分類について思考・判断し、それを説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・負債の意味と分類、流動負債、固定負債の意味と各項目の内容について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 第10章 負債の意味と分類 第11章 流動負債 第12章 固定負債</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等 確認テスト</p>	<p>【知識・技能】 負債の意味と分類について理解するとともに、流動負債、固定負債の意味と各項目の内容を理解し、適切な会計処理ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 負債の意味と分類について思考・判断し、それを説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 負債の意味と分類、流動負債、固定負債の意味と各項目の内容について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。</p>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第2編 貸借対照表</p> <p>【知識及び技能】 純資産の意味と分類について理解している。また、資本金、資本準備金、その他資本剰余金、利益剰余金、任意積立金、繰越利益剰余金の意味を理解し、適切な会計処理が理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 純資産の意味と分類について思考・判断し、それを説明できる。また、資本金の増加・減少の内容およびそれぞれの会計処理、資本準備金とその他資本剰余金に関する会計処理、任意積立金や繰越利益剰余金の内容と処理方法について思考・判断し、表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 純資産の意味と分類、資本金の増加・減少の内容およびそれぞれの会計処理、資本準備金とその他資本剰余金に関する会計処理、任意積立金や繰越利益剰余金の内容と処理方法について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 第13章 純資産の意味と分類 第14章 資本金 第15章 資本準備金 第16章 利益準備金</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等 確認テスト</p>	<p>【知識・技能】 純資産の意味と分類について理解している。また、資本金、資本準備金、その他資本剰余金、利益剰余金、任意積立金、繰越利益剰余金の意味を理解し、適切な会計処理が理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 純資産の意味と分類について思考・判断し、それを説明できる。また、資本金の増加・減少の内容およびそれぞれの会計処理、資本準備金とその他資本剰余金に関する会計処理、任意積立金や繰越利益剰余金の内容と処理方法について思考・判断し、表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 純資産の意味と分類、資本金の増加・減少の内容およびそれぞれの会計処理、資本準備金とその他資本剰余金に関する会計処理、任意積立金や繰越利益剰余金の内容と処理方法について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。</p>	○	○	○	10
<p>第2編 貸借対照表</p> <p>【知識及び技能】 ・自己株式の意味について理解し、自己株式の取得・処分・消却の会計処理を習得する。</p> <p>・新株予約権の意味について理解し、新株予約権の発行・新株予約権の行使の会計処理を習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己株式の取得・処分・消却の会計処理、新株予約権の発行・新株予約権の行使の会計処理について思考・判断し、表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己株式の意味、自己株式の取得・処分・消却の会計処理、新株予約権の意味、新株予約権の発行・新株予約権の行使の会計処理について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 第17章 自己株式 第18章 新株予約権</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等 確認テスト</p>	<p>【知識・技能】 ・自己株式の意味について理解し、自己株式の取得・処分・消却の会計処理を習得している。</p> <p>・新株予約権の意味について理解し、新株予約権の発行・新株予約権の行使の会計処理を習得している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己株式の取得・処分・消却の会計処理、新株予約権の発行・新株予約権の行使の会計処理について思考・判断し、表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自己株式の意味、自己株式の取得・処分・消却の会計処理、新株予約権の意味、新株予約権の発行・新株予約権の行使の会計処理について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。</p>	○	○	○	5
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第2編 貸借対照表</p> <p>【知識及び技能】 貸借対照表作成上の諸原則について理解し、貸借対照表の作成方法を習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 貸借対照表作成上の諸原則について思考・判断し、表現することができる。また、貸借対照表の作成方法について思考・判断し、実際に作成することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 貸借対照表作成上の諸原則や貸借対照表の作成方法の習得に際し、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 第19章 貸借対照表の作成</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等 確認テスト</p>	<p>【知識・技能】 貸借対照表作成上の諸原則について理解し、貸借対照表の作成方法を習得している。</p> <p>【思考・判断・表現】 貸借対照表作成上の諸原則について思考・判断し、表現できる。また、貸借対照表の作成方法について思考・判断し、実際に作成できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 貸借対照表作成上の諸原則や貸借対照表の作成方法の習得に際し、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。</p>	○	○	○	6

2 学 期	<p>第3編 損益計算書</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損益計算書とその役、損益計算書の区分や様式について理解する。 ・収益・費用の認識基準と測定基準について理解する。 ・売上高の意味、売上原価の意味と計算方法について理解し、適切な会計処理を行うことができる。 ・販売費及び一般管理費、営業外収益・営業外費用、特別利益・特別損失の意味と種類及び記帳方法について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別利益・特別損失の意味と種類及び記帳方法について思考・判断し、当期純利益の計算までの内容を説明することができる。 ・損益計算書とその役割、損益計算書の区分や様式について思考・判断し、説明することができる。 ・収益・費用の認識基準と測定基準について、思考・判断し説明することができる。 ・出荷基準・引渡基準・検収基準の違いについて説明することができる。 ・売上原価の意味と計算方法について、思考・判断して説明することができる。 ・販売費及び一般管理費の意味と種類及び記帳方法について、思考・判断して、営業利益の計算までの内容について説明することができる。 ・営業外収益・営業外費用の意味と種類及び記帳方法について思考・判断し、経常利益の計算までの内容を説明することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損益計算書とその役割、損益計算書の区分や様式について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。 ・収益・費用の認識基準と測定基準について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。 ・売上高の意味、売上原価や販売費及び一般管理費の意味と種類、営業利益の計算、営業外収益・営業外費用の意味と種類、経常利益の計算、特別利益・特別損失の意味と種類、当期純利益の計算について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。 	<p>・指導事項</p> <p>第20章 損益計算書のあらまし 第21章 損益計算の意味と基準 第22章 売上高 第23章 売上原価、販売費及び一般管理費 第24章 営業外収益・営業外費用 第25章 特別利益・特別損失</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等 確認テスト</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損益計算書とその役割、損益計算書の区分や様式について理解している。 ・収益・費用の認識基準と測定基準について理解している。 ・売上高の意味、売上原価の意味と計算方法について理解し、適切な会計処理が行える。 ・販売費及び一般管理費、営業外収益・営業外費用、特別利益・特別損失の意味と種類及び記帳方法について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損益計算書とその役割、損益計算書の区分や様式について思考・判断し、説明することができる。 ・収益・費用の認識基準と測定基準について、思考・判断し説明することができる。 ・出荷基準・引渡基準・検収基準の違いについて説明できる。 ・売上原価の意味と計算方法について、思考・判断して説明できる。 ・販売費及び一般管理費の意味と種類及び記帳方法について、思考・判断して、営業利益の計算までの内容について説明できる。 ・営業外収益・営業外費用の意味と種類及び記帳方法について思考・判断し、経常利益の計算までの内容を説明できる。 ・特別利益・特別損失の意味と種類及び記帳方法について思考・判断し、当期純利益の計算までの内容を説明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損益計算書とその役割、損益計算書の区分や様式について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。 ・収益・費用の認識基準と測定基準について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。 ・売上高の意味、売上原価や販売費及び一般管理費の意味と種類、営業利益の計算、営業外収益・営業外費用の意味と種類、経常利益の計算、特別利益・特別損失の意味と種類、当期純利益の計算について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。 	○	○	○	14
	<p>第3編 損益計算書</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損益計算書の作成原則および作成方法について理解する。 ・株主資本等変動計算書の意味および作成方法について理解する。 <p>注記表と附属明細書の意味について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損益計算書の作成原則および損益計算書の作成方法について思考・判断し、実際に作成することができる。株主資本等変動計算書と注記表、附属明細書の意味について思考・判断し、説明することができる。株主資本等変動計算書の作成方法について思考・判断し実際に作成することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損益計算書の作成原則と作成方法について、自ら学び損益計算書の作成に主体的かつ協働的に取り組む。 ・株主資本等変動計算書と注記表、附属明細書の意味や株主資本等変動計算書の作成方法について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。 	<p>・指導事項</p> <p>第26章 損益計算書の作成 第27章 その他の財務諸表</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等 確認テスト</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損益計算書の作成原則および作成方法について理解している。 ・株主資本等変動計算書の意味および作成方法について理解している。 注記表と附属明細書の意味について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損益計算書の作成原則および損益計算書の作成方法について思考・判断し、実際に作成できる。 ・株主資本等変動計算書と注記表、附属明細書の意味について思考・判断し、説明できる。株主資本等変動計算書の作成方法について思考・判断し実際に作成できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損益計算書の作成原則と作成方法について、自ら学び損益計算書の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。 ・株主資本等変動計算書と注記表、附属明細書の意味や株主資本等変動計算書の作成方法について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。 	○	○	○	8
定期 考 査				○	○		1

3 学 期	<p>第4章 その他の会計処理</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役務収益・役務原価の意味と記帳方法について理解する。 ・ 外貨建ての債権債務と前払金・前受金の円換算や、決算時の手続き及び財務諸表の表示方法を理解する。 ・ 税効果会計の意味を理解し、税効果会計の適切な会計処理をすることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役務収益・役務原価の意味と記帳方法について思考・判断し、説明することができる。 ・ 外貨建ての債権債務や前払金・前受金に関する適切な円換算を判断し適切に計算・表示する方法を身につけることができる。 ・ 税効果会計による利点を主体的に考え、協働的な作業により、税効果会計が当期純利益に与える影響とその理由について説明することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役務収益・役務原価の意味と記帳方法について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけることができる。 ・ 外貨建取引に関する協働的な学習に参加することができる。 ・ 協働的な作業により、税効果会計が当期純利益に与える影響とその理由について説明することができる。 	<p>・ 指導事項</p> <p>第28章 役務収益・役務原価 第29章 外貨建取引 第30章 税効果会計</p> <p>・ 教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・ 一人1台端末の活用 等 確認テスト</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役務収益・役務原価の意味と記帳方法について理解している。 ・ 外貨建ての債権債務と前払金・前受金の円換算や、決算時の手続き及び財務諸表の表示方法を理解している。 ・ 税効果会計の意味を理解し、税効果会計の適切な会計処理ができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役務収益・役務原価の意味と記帳方法について思考・判断し、説明できる。 ・ 外貨建ての債権債務や前払金・前受金に関する適切な円換算を判断し適切に計算・表示する方法を身につけている。 ・ 税効果会計による利点を主体的に考え、協働的な作業により、税効果会計が当期純利益に与える影響とその理由について説明する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役務収益・役務原価の意味と記帳方法について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。 ・ 外貨建取引に関する協働的な学習に参加している。 ・ 協働的な作業により、税効果会計が当期純利益に与える影響とその理由について説明する。 	○	○	○	9
	<p>第5章 財務諸表の活用</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ディスクローチャーの意味を理解する。 ・ 財務諸表分析の意味と財務諸表分析の方法を理解する。 ・ 連結財務諸表を理解している。 ・ 連結財務諸表の作成方法を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ディスクローチャーがなぜ必要か説明することができる。 ・ 財務諸表分析の方法と種類について、説明することができる。 ・ 連結財務諸表がなぜ必要か説明することができる。 ・ 開始仕訳や連結修正仕訳がなぜ必要か思考・判断し、説明することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業でどのようにディスクローチャーを行っているか、事例を調べることができる。 ・ 実際の企業の財務諸表を入手し、主体的に財務諸表分析を行うことができる。 ・ 連結財務諸表の作成について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけることができる。 	<p>・ 指導事項</p> <p>第31章 財務諸表の ディスクローチャー 第32章 財務諸表分析 第33章 連結財務諸表のあらまし 第34章 連結財務諸表の作成</p> <p>・ 教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・ 一人1台端末の活用 等 確認テスト</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ディスクローチャーの意味を理解している。 ・ 財務諸表分析の意味と財務諸表分析の方法を理解している。 ・ 連結財務諸表を理解している。 ・ 連結財務諸表の作成方法を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ディスクローチャーがなぜ必要か説明できる。 ・ 財務諸表分析の方法と種類について、説明できる。 ・ 連結財務諸表がなぜ必要か説明できる。 ・ 開始仕訳や連結修正仕訳がなぜ必要か思考・判断し、説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業でどのようにディスクローチャーを行っているか、事例を調べられる。 ・ 実際の企業の財務諸表を入手し、主体的に財務諸表分析を行える。 ・ 連結財務諸表の作成について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。 	○	○	○	15
	定期考査				○	○	
							合計
							105